

Interview

悠久の大自然と情熱がドラマを生んだ

木村大作監督、柴崎芳太郎役の浅野忠信、宇治長次郎役の香川照之が、過酷な撮影を振り返っての思いや、作品のメッセージなどについて語った。



「この一本を超えるために 残りの俳優人生がある」

香川照之

「木村組」には強い絆が生ま



「今まで出た映画の どれにも当てはまらない作品」

浅野忠信

「山に戻りたい」と思うこと



「見れば必ず何かを感じる 作品だと思う」

木村大作

「山に戻りたい」と思うこと

映画「劔岳 点の記」の公開を控え、今の気持ちを聞かせてほしい。

自分の人生の一部だったという感覚がある。カメラが回っていることをこんなにも意識しない作品はほかになく、俳優として幸せなこと。何も考えないという幸せを与えてもらった。役作りという言葉が小さく思えるほど、見えない大きな力に運ばれたと感じている。

一発でOKだった。これは物語であるとともに、ドキュメンタリーでもある。この作品は自身にとつて、どんな意味があるか。

俳優のみならず出演を頼むとき、「映画に対する志がないと引き受けられないだろう」と話した。俳優が完遂してくれたのが一番の力だと思っており、頭を下げた。

僕自身、監督の熱意を見てもうったお客だったように思えるほど。「つらい思いを体験させてもらった」と感謝したい。

「かつて劔岳に挑んだ人たちがいて今の我々がいる」と、見つめ直す機会になると思う。この映画を見ずして日本は語れない。

山は過酷だけれども、一方でその中をゆくり歩くことは魅力的だと感じてほしい。

山それぞれ感じ方が違うだろうし、一回目と二回目の印象も違うだろう。ただ、見れば必ず「何か」を感じる作品だと思っている。

日本測量協会は映画「劔岳 点の記」を応援しています!!

(社)日本測量協会(村井俊治会長)は映画がクランクインされた当初から協会発行の機関誌、月刊「測量」で映画に関する解説記事を掲載するなど積極的に応援を続けています。同協会は、測量技術の普及と発達、会員相互の交流を目的に全国の測量・地図に関する技術者で構成する社団法人として昭和26年に設立されました。

現代の測量における最新技術が一堂に会する!! 「地理空間情報フォーラム2009 - 広がる測量の世界 -」開催 会場:パシフィコ横浜(横浜市西区みなとみらい1-1-1) 主催:(社)日本測量協会ほか

「劔岳 点の記」の舞台、富山で休もう。

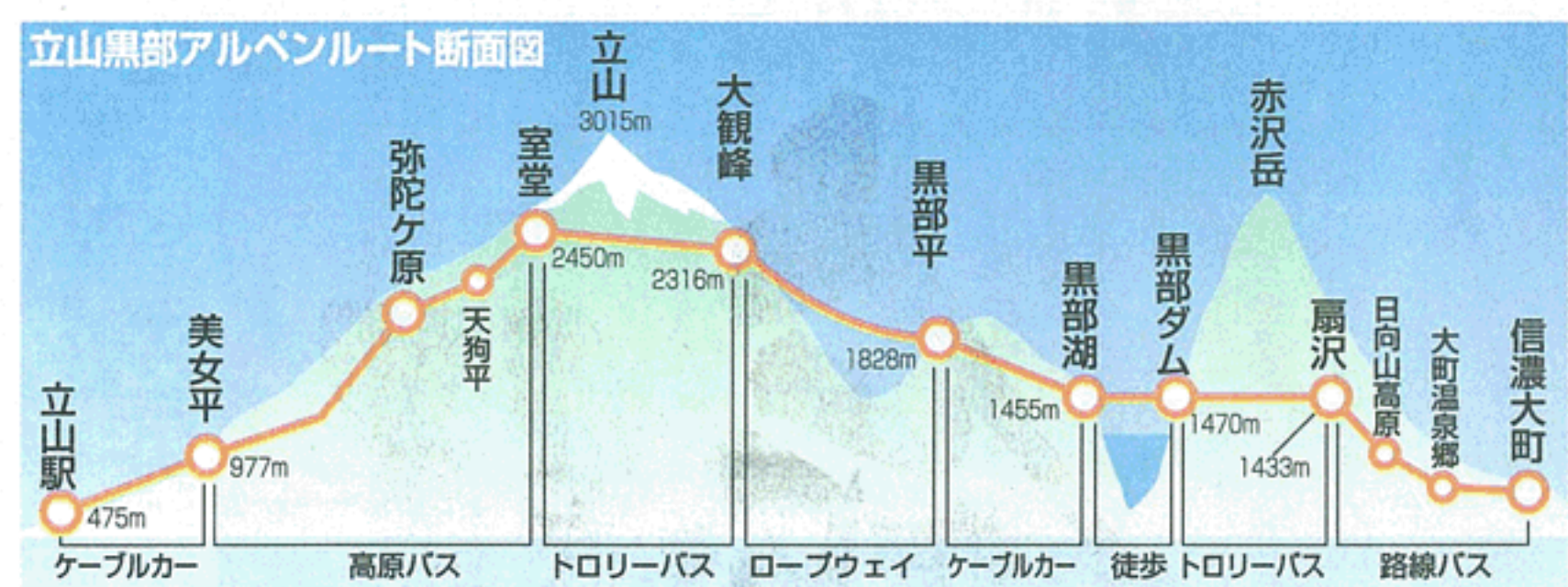
「劔岳 点の記」の舞台となった富山県は、本州のほぼ中央に位置し、3000メートル級の雄大な北アルプスをはじめ、6つの乗り物を使い縦横断する立山黒部アルペンルートや黒部峡谷、海越しに望む立山連峰など自然の驚異が息づく宝庫だ。世界遺産の五箇山合掌造り集落に国宝瑞龍寺と、日本の原風景と歴史に心ゆくまで浸ることもできる。

海の幸も魅力だ。北アルプスの水が注ぎ込む富山湾は、ホタルイカ、シロエビ、寒ブリなど一年を通して多種多様な魚介が水揚げされ「天然のいけす」とも呼ばれる。東京、大阪、名古屋からほぼ等距離で、航空路や鉄道、高速道路の交通網も充実しており、富山は意外に近い。心奪われる大自然と、富山ならではのキトキト(新鮮)の味を堪能しよう。



壮大なパノラマ体感 立山黒部アルペンルート

立山黒部アルペンルートは、立山駅から長野県の信濃大町まで、北アルプスを横断する世界的な山岳観光ルート。美しいブナの原生林が広がる美女平、高山植物が咲き乱れる弥陀ヶ原、神秘的な湖水をたたくみるみり池、硫黄ガスが噴き出す地獄谷、巨大な黒部ダムが造る黒部湖などを堪能できる。室堂周辺では、特別天然記念物のライチョウに出会えることも。立山駅周辺には落差日本一の称名滝がある。



アルペンルートは4月17日に全線開通した。除雪された道路の両脇に高さ20メートルに迫る巨大な雪の壁「雪の大谷」が出現し、見る者を圧倒する。室堂(2,450メートル)から約2時間の登山となる立山の主峰・雄山には雄山神社峰本社が建っており、夏は多くの参拝者でにぎわう。室堂周辺では「劔岳 点の記」のロケが数多く行われた。

美しいアーチを描き、壮大な自然に溶け込む黒部ダム。放水口を間近に見る新展望台からの眺めは圧巻だ

トロッコ電車で黒部峡谷に行く

日本一深く険しいといわれる黒部峡谷。その玄関口・宇奈月温泉を出発地として、終点樺平までの20.1キロメートルをトロッコ電車で縫うように走る。高さ60メートルの後曳橋、河原にお湯が湧き出て天然の露天風呂がある鐘釣温泉などの秘湯、黒部万年雪など見どころが次から次へ連なる。樺平には川幅が狭く昔、猿が飛び越えたことからその名がついた猿飛峡や無料で入れる足湯もある。

まだまだある富山の見どころ

